

製品名: ACVR1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81888**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC, ELISA, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000, FC 1:200-1:400
分子量	57.2kDa

抗原情報

遺伝子名	ACVR1
別名	FOP; ALK2; SKR1; TSRI; ACTRI; ACVR1A; ACVRLK2
遺伝子 ID	90.0
SwissProt ID	Q04771
免疫原	大腸菌で発現したヒト ACVR1 (AA: 21-120) の精製された組み換え断片。

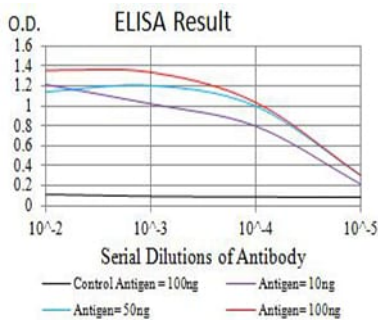
背景

アクチビンは、構造的に関連するシグナル伝達タンパク質であるトランスフォーミング成長因子ベータ (TGF- β) スーパーファミリーに属する、二量体の成長因子および分化因子です。アクチビンは、少なくとも2つのI型 (IおよびIB) 受容体と2つのII型 (IIおよびIIb) 受容体とを形成します。

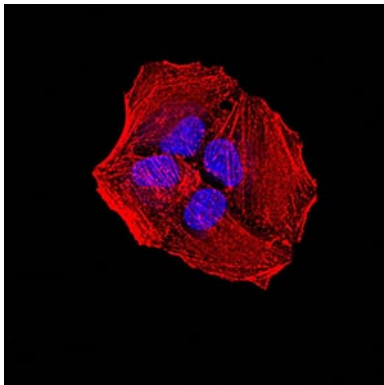
び IIB) 受容体を含む受容体セリンキナーゼのヘテロ多量体複合体を介してシグナル伝達します。これらの受容体はすべて膜貫通タンパク質で、システインに富む領域を持つリガンド結合細胞外ドメイン、膜貫通ドメイン、およびセリン/スレオニン特異性が予測される細胞質ドメインで構成されています。I型受容体はシグナル伝達に必須であり、II型受容体はリガンドの結合とI型受容体の発現に必要です。I型受容体とII型受容体はリガンド結合後に安定な複合体を形成し、II型受容体によるI型受容体のリン酸化を引き起こします。この遺伝子は、アクチビンII型受容体と協調して特定の転写応答のシグナル伝達を行うアクチビンA I型受容体をコードしています。この遺伝子の変異は進行性線維性骨異形成症と関連しています。

研究分野

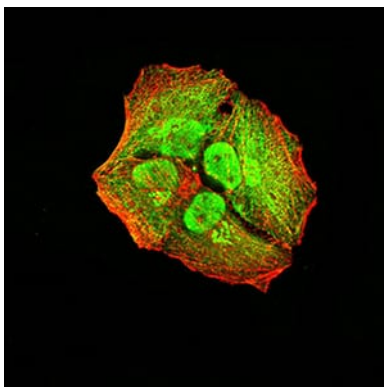
画像データ



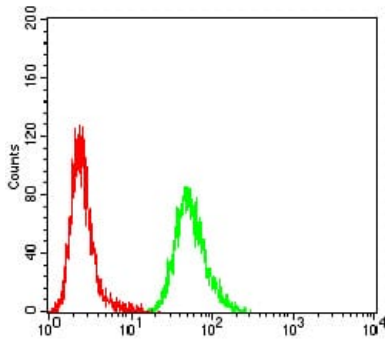
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



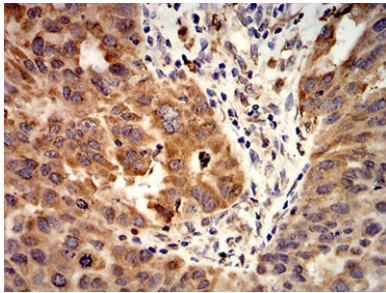
ACVR1 マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



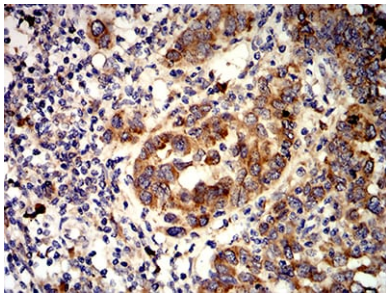
ACVR1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ACVR1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



ACVR1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



ACVR1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。